



オーストラリアと日本は、どんな結びつきをもっているの



貿易と観光の面で、特に強い結びつきをもっているんだよ。

オーストラリアと日本の関係は、1875年のメルボルンの万国博覧会ばんこくはくらんかいに、日本が参加したときからのようです。また、このころから、真珠貝しんじゅがいのひとつの(仲間の)シロチョウガイかいがら(貝殻は高級なボタンの材料となる)をとるために、たくさんの日本人潜水夫せんすいふが、ニューギニア島との間にある木曜島に、出かせぎに行きました。その後、日本人が移住を始めましたが、1901年に有色人種を制限する法律がつくられて、日本人は追い出されました。それ以後、オーストラリアと日本の関係は悪く、太平洋戦争では、敵国の関係になりました。戦後は、貿易・観光を中心に、両国間の関係が強まっています。

貿易での結びつき

日本にとってオーストラリアは、工業に必要な鉄鉱石・羊毛・石炭・天然ガスなどの原料・燃料の輸入先として、重要な国です。日本はオーストラリアに、自動車・電気機械・コンピューターなどを輸出していますが、輸入額ゆにゅうがくのほうが輸出額ゆしゅつがくより多い年が続いています。

観光での結びつき

国土が広く、人口密度じんこうみつどが低いオーストラリアは、近年、「自然の宝庫」として人気が高まっており、観光・保養・マリンスポーツなどを目的におとずれる日本人が増えています。南半球にあるので、季節が日本と反対になっており、日本では寒い11～3月が、オーストラリアでは旅行に最適なシーズンであることも、人気の理由の一つです。